

平成23年度 防災ひとづくり事業

「写生画・ポスター・標語・意見発表」入賞者表彰式・作品展開催

平成23年12月3日(土曜日)10時から 岩出市立市民総合体育館小ホールで表彰式を開催しました。たくさんの方々に御出席いただきありがとうございました。



各受賞者に表彰状及び記念品の贈呈



会場風景

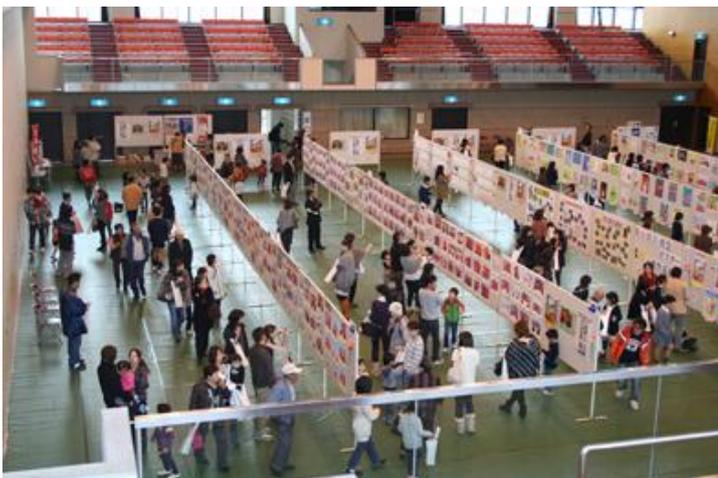


「子ども防災博士意見発表会」最優秀作品披露
安楽川小学校6年生 榎 由衣さん「心の非常用袋」



しょうこちゃん&けすぞう君が玄関でお出迎え

展示会は12月3日(土曜日)4日(日曜日)の両日、岩出市立総合体育館大ホールで開催。たくさんの方々が作品鑑賞にお越し下さいました。



作品展会場



作品展鑑賞風景

平成23年度ひとづくり事業 優秀作品紹介

「消防車・救急車写生画の部」



最優秀賞

名手保育所
石井 彩也香さん

優秀賞



中貴志保育所
辰巳 隼さん



ながやま保育所
山崎 零さん



岩出保育所
岩田 莉歩さん

「地震防災標語の部」

最優秀賞 未来へと 命をつなぐ 防災訓練
岩出市 上西 一杜さん

優秀賞

備えよう 地域の絆と 防災意識

紀の川市 西 佳美さん

この町を みんなで守ろう 地震から

紀の川市 米田 有里さん

地震から 家族を守る 知識と準備

紀の川市 今木 裕之さん

「防火・防災・救急ポスターの部」



最優秀賞

池田小学校 前中 尚輝さん

優秀賞



山崎北小学校
池本 さくら子さん



田中小学校
岩根 脩人さん



粉河小学校
田中 優芽花さん

「子ども防災博士意見発表の部」

最優秀 「心の非常用袋」

安楽川小学校 榊 由衣さん

優秀賞 「経験」は大切な知恵袋

名手小学校 平川 益子さん

「子ども防災博士意見発表の部」

最優秀 「心の非常用袋」

安楽川小学校

榎 由衣さん

(非常用袋、用意しとかな。)

私が防災について考えたのは、初めてでした。

今年の三月十一日に起きた東日本大震災によって、防災の大切さを意識するようになったのは、私だけではないでしょう。

「すごいことになってるわ、来てんよ。」

その日学校から帰ると、いつもはついていないテレビを見ているお母さんが言いました。

(うそ、うそじゃないの?)

テレビには、真っ黒な波が堤防を越え、町中を破壊していく映像がくり返し流れています。

私は瞬きもできず、固まってしまいました。

想像していたこととはまるっきり違う恐ろしい光景に、私は言葉も出ませんでした。

「非常用袋、用意しよう。」

私が言うと、すぐ

「お母さんも思ってたんよ。今日からちょっとずつそろえていこうか。」

と言ってくれました。それから、お母さんと相談しながら、少しずつ防災グッズをそろえていきました。水や缶詰、かんぱん、ロープ、救急箱、ラジオなど必要なものを次々と非常用袋に入れていきます。そして、その中に、一つだけ我が家だけのものを入れました。それは、家族が笑顔で一緒に写った写真です。

被災者の方々は、家族や家、仕事など何もかも失い、心がひどく傷ついておられます。もし私が同じ目にあったら、たとえ命が助かったとしても、夢や希望、勇気などをもって、前向きに生きていこうとする心などはなかなかわいてこないでしょう。そんなとき、この家族の写真を見ると、少しずつでもがんばろうという気持ちをとりもどしていけそうな気がするのです。いいえ、そうしようと思い、この家族の写真を非常用袋に入れておこうと決めました。

それから、もう一つ私が考えたことがあります。それは、心の非常用袋もいるのではないかということです。震災から四ヶ月の間に、被災地の方々は、協力し合い、ゆずり合い、一日も早くもとの生活にもどそうと努力されています。私も家族も少しでも役に立てるようにと、出かけたときに募金箱を見つけたら、必ず募金するようにしています。節電、節約も意識して実行しています。今被災地のために、日本中、いいえ世界中の人々から思いやりの心が届けられていることが報道されています。そんな温かい心をもった方々を見ていて、私も、人の気持ちを思いやる人になりたいという思いが強くなってきました。心の非常用袋には、思いやりの心をつめたいです。そのほかにも非常用袋に入りたい心があります。私は、今回改めて、人は自分一人で生きているのではないと感じました。だから、周りの人に感謝したり、困っている人を助けたりできる優しい心が大切だと思いました。またどんな状況になっても負けない心を備えるためには、少々のことではあきらめず、がまんし、こつこつ努力していこうと思います。さらに、周りの人を笑顔にしてくれる、ユーモアのある人、困ったことを解決するアイデアがたくさん出せる人、リーダーシップをとれる人にもなりたいなあとも思います。心の非常用袋には、まだまだ必要な心があるでしょう。私は、これからの自分の生活や行動を通して、非常用袋に心の構えを増やしていこうと決心しました。

私は、夜寝る前にいつも祈ります。

(一日も早く、東北の方々がふだんの生活にもどれますように。) と。